

報道関係者各位

2016年08月10日

バイリンガル・スペシャリストに聞きました！

「英語はどのように身につけた？英語の勉強はいつから始めた？」

グローバル人材紹介会社のロバート・ウォルターズが英語を使って働く人たちに質問！

バイリンガル・スペシャリスト人材紹介会社のロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：デイビッド・スワン）は8月10日、英語を使って仕事をこなす「バイリンガル・スペシャリスト」192人を対象としたアンケート結果を発表いたしました。今アンケートでは、外資系、日系グローバル企業で英語を使って活躍する方々がどのように英語を身につけたのか、そして英語学習を始めた年齢を探りました。（実施期間：2016年7月26日～8月10日、対象：弊社御登録者様）

昨今、日本企業の海外展開の加速や外資系企業の国内進出増加などを受けて、職場での英語に対する需要はますます高まる傾向にあります。転職市場においても、英語をはじめとする語学力の有無がキャリアの可能性を左右する一因となっております。

1. 英語を身につけた主な手法はなんですか？

英語力アップの秘訣は「必要に迫られること」

英語を身につけた主な方法で最多だったのは、「1年以上の海外留学」（20%）で、やはり英語を使って海外で生活・学習することが英語力を伸ばす王道であるかもしれません。また、1年以上の留学経験者は女性に多い傾向にあり、女性バイリンガルのうち31%を占めていました。男性は15%でした。

ただ、次いで多かったのが、「職場で身につけた」（18%）で、こちらは男性が22%と多く、「独学で身に付けた」も12%と男性の方が多い傾向となりました。女性はそれぞれ9%、5%でした。

日本国内に居住しているものの、英語力の必要が迫られる環境に身を置くことで、英語力アップの近道となったようです。

その他の回答に挙げた「海外に転勤し、現地で彼女ができた」「（外国人の）職場の友人との会話」なども英語での会話が必要になるシチュエーションと言えるかもしれません。「国内で海外留学生のお世話をした」などという回答もありました。

どれだけ多くの時間、英語に触れる環境を作れるかが、キーポイントになるようです。

2. 最初に英語を勉強し始めた年齢はいくつですか？

44%のバイリンガル・スペシャリストは中学校(13-15歳)から英語学習を開始

現在職場で英語を使って働く方々の半数近くは中学校での授業が英語学習をはじめのきっかけに。

ただ、英語習熟度別の回答では、自身の英語力を「ネイティブレベル」と回答した人は、33%が3歳未満、27%が3～5歳未満から英語学習を始めており、半数以上が5歳未満で英語に触れ始めていることがわかります。ネイティブレベルの英語力を習得するには、幼児段階で英語に触れることが大切かもしれません。学習を始めた年齢が上がるにつれ、「ネイティブレベル」とした回答者が減っており、早期の学習開始が鍵となるようです。

英語上達のスピードをアップするため「必要に迫られる」ことが重要だとしても、なかなかそういうチャンスや状況にない、という人も居るでしょう。仕事で求められる英語力は様々なので、自分の英語レベルにあった職場に飛び込んでみるのも手かもしれません。

また、意識して少しでも英語を実際に使う機会、そして英語に触れる時間を増やすことも大切でしょう。

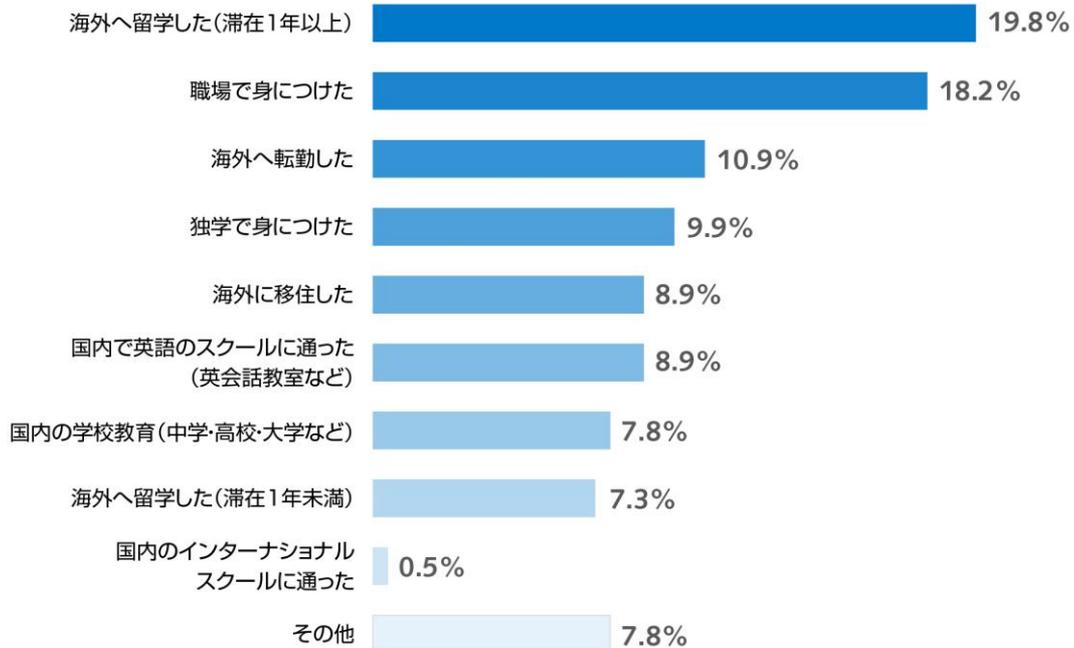
お子さんの英語上達を願うのであれば、やはり少しでも早く英語に触れる機会を与えてあげるのが高い英語力の鍵となりそうです。

■ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社について (<https://www.robertwalters.co.jp/>)

ロバート・ウォルターズは1985年に英国・ロンドンで設立され、世界25カ国の主要都市に拠点を持つ、スペシャリストのための人材紹介会社です。

ロバート・ウォルターズ・ジャパンはその日本オフィスであり、バイリンガル人材に特化しております。2000年に東京オフィスを、2007年には大阪オフィスを開設し、正社員または派遣・契約社員の紹介をおこなっております。日本では世界有数のグローバル企業から新規参入企業や中小企業に至るまで、幅広いクライアント企業に人材を紹介しており紹介業種・職種は多岐に渡ります。ラグビー日本代表のオフィシャルスポンサー、国立新美術館の支援など、日本社会への貢献も目指しております。

Q1 英語を身につけた主な手法はなんですか？



Q2 最初に英語を勉強し始めた年齢はいくつですか？

